



# なとセン登録団体紹介

## 認定 特定非営利活動法人地星社



代表の布田剛さんは、仙台市の市民活動支援施設に勤めていましたが、東日本大震災後の2013年に独立し、中間支援組織（NPOを支援するNPO）として特定非営利活動法人地星社を設立しました。

地星社は、現在、復興支援団体への支援や、被災地における調査・情報提供を中心に活動しています。団体を設立するにあたり、どんな思いがあったのかなど、布田さんに伺いました。

### 湧きあがった想いを形に

大学卒業後の1年間、国際交流プログラムでドイツに行っていた布田さんは、環境問題に関心を持ち、帰国後に「みやぎ・環境とくらしネットワーク」が開催した勉強会に参加し、次第に環境についての学びを深めたいと考えるようになり東北大学大学院へ進学することにしました。

大学院で、社会学研究室の中に仙台市民活動サポートセンターの非常勤スタッフをしていた院生から紹介を受け、サポートセンタースタッフとして中間支援組織に携わることになりました。数年後には特定非営利活動法人事務局の業務を担当しつつ、メインで担当していたのは助成金のプログラムの運用でした。

そんな折、東日本大震災が発生したのです。石巻などの沿岸被災地には、県外からも沢山の支援団体が入り、また、地域の中でも自分たちで新しい団体を作り活動を始める人もでてきました。布田さんは、助成金の担当者として既存のプログラムで助成したり、新しく寄付を集めて助成プログラムを作成したりしました。しかし、現場や団体の詳しい状況が分からず、団体に合った支援ができていないのではないかと感じるようになりました。本当はもっと団体の状況を知ったうえでの細やかな支援が必要ではないか？という思いが募り、自ら現場に出向き個別支援ができる中間支援団体を作ろう！と決意します。そして本当に必要な支援を提供し、社会をよりよくするために活動している人や組織を支援し、増やしていくことで、一人ひとりが社会づくりに関わっていく世の中を実現したい！そんな使命感から特定非営利活動法人地星社を立ち上げました。

### 地星社として

地星社の事業の柱は、①相談・個別支援②調査・情報提供③人材育成です。団体と直接会ってお話を聞くことで、相談・個別支援という形になっていきました。そして、調査した情報をまとめた「宮城県 被災地・地域活動団体ガイドブック」を作成しました。最近では、復興コミュニティ形成支援の現在が分かる「宮城県 被災地・地域づくり白書2019」も発行しています。

現在、岩沼市で開催しているソーシャルライター入門講座は、人材育成が目的です。地域で活動している人や団体取材し、心を動かされた出来事などを記事にして情報発信することでまちづくりにつなげていく事業です。色々な思いを持って活動している人たちに出会い、その中で自分の生活している地域にも様々な課題があることに受講者が自ら気づき、主体性をもって活動できるようになると考えています。このソーシャルライター講座は、今後も名取市を含めた県南地域で継続して開催していく予定です、と布田さんは熱く語って下さいました。



認定特定非営利活動法人地星社  
代表 布田 剛  
☎080-3337-6890  
✉office@chiseisha.org  
HP <https://chiseisha.org>